

3年生社会科通信 第1号

2021/5/20

○社会科の学習の意義とは？ ～第1回アンケートより～

皆さんが社会科の時間に対してどのように思っているのか、今年は何を勉強したいのか調査をさせていただきました。3年生の皆さんは、受験勉強モードに入り、積極的に勉強する時間を持ちたいと答えていました。

今回皆さんがアンケートで答えてくれたものも、極力リクエストに応じていきたいと思います。下に結果をのせておきます。

	とても思う/少し思うの割合(今年)	(去年)
1.社会科の授業は楽しい	79%	93%
2.社会科の授業内容がよく分かる	91%	95%
3.社会科の授業には積極的に参加している	76%	78%
4.社会科の授業は将来役に立つと思う	74%	81%
5.社会科の予習・復習を家などで進めている	50%	54%
6.社会科の授業でやりたいこと		

〈歴史の学習〉

新撰組について深く 昭和の調べ学習 時代ごとのクイズゲーム(復習にもなる)
地理・歴史のゲーム 社会科伝言ゲーム 第二次世界大戦
江戸時代ゲーム 歴史人物クイズ 歴史の映画鑑賞 歴史的な観光地巡り
歴史キャラで劇 江戸時代ゲームみたいなもの今やっているところをやりたいです。
歴史の人カルタをしたいです 歴史百人一首したい 歴史すごろく

〈公民の学習〉

SDGsのゲーム 公民の学習 世界の現状について討論してみたい
あまり知られていない、現代のルール(法律)のもととなった事件

〈その他〉

いつ誰がどこでなにをしたかをみんなで確認する時間がほしい。
どんな人物かもっと掘り下げて欲しい 1・2年の復習をする時間が欲しいです。
テストに向けての先生ならではの復習方法を教えてほしい(単語)
最近の授業のように、進めた後にワークをやる時間を作ってほしいです。

○「タカ目で見える」「アリ目で見える」「私自身目で見える」

皆さんは世界を「いい場所」だと思いますか、それとも「悪い場所」だと思いますか。

日々の生活の中で皆さんは様々な想いを抱いていると思います。いいこともあるし、悪いこともある。だからこそ、世界が輝いて見えるときもあれば、濁って見えるときもあると思います。私たちの悩みも、自分が自分の目から抜けることができないからこそ起こるものが多いです。

しかし、学問を通して世界の見方は広がります。時にはタカ目になり、世界全体を俯瞰してみることもできますし、アリ目になって世界をより詳細に見ることもできます。悩みそのものは変わりませんが、見方や考え方をたくさん取り入れることで、私たちは今の世界の見方を変えることができます。

そうした想像力から見えた世界が、自分の思いや感情を「客観視」することで冷静な判断を促してくれます。目の前の問題を明らかにしてくれたり、解決策が見えてきたりすることもたくさんあるはずですよ。

今、皆さんが世界の中で「よく」見えているものは、これからも残し、「悪く」見えているものは、これからなくしていくことで、世界はよりよいものになっていくでしょう。だからこそ、皆さんにも様々な視点から考えられる大人になっていって欲しいと思っています。

